

➤ 13日 月曜

箴言

16:1 人は心に計画を持つ。しかし、舌への答えは【主】から来る。

16:2 人には自分の行いがみな純粋に見える。しかし、【主】は人の霊の値打ちを量られる。

16:3 あなたのわざを【主】にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ。

16:4 すべてのもので、【主】はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。

16:5 心の高ぶりはすべて【主】に忌み嫌われる。断じて罰を免れない。

16:6 恵みとまことによって、咎は赦され、【主】を恐れることによって、人は悪を離れる。

16:7 【主】が人の行いを喜ぶとき、敵さえもその人と和らげる。

16:8 正義によるわずかなものは、不正による多くの収穫にまさる。

16:9 人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、【主】が人の歩みを確かにされる。

16:10 王の唇には神々しさがある。さばくときに、その口は神の信頼を裏切らない。

16:11 正しい天秤と秤は【主】のもの。袋の中の重り石もみな、主が造られたもの。

16:12 悪を行うことは王たちの忌み嫌うこと。王座は正義によって堅く立つからだ。

16:13 正しい唇は王たちの喜び。真っ直ぐなことを語る者は愛される。

16:14 王の憤りは死の使い。知恵のある人がそれをなだめる。

16:15 王の顔の光にはいのちがある。彼のいつくしみは後の雨をもたらす密雲のようだ。

16:16 知恵を得ることは、黄金を得るより



はるかに良い。悟りを得ることは、銀を得るよりも望ましい。

16:17 直ぐな人の大路は悪から遠ざかっている。自分のたましいを守る者は自分の道を見張る。

16:18 高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ。

16:19 へりくだって、貧しい者とともにいるのは、高ぶる者とともに分捕り物を分け合うのにまさる。

私たちは願いがあって、そこに至るための「計画」を持ちますが、主が主権を持っておられるので、「主にゆだね」る信頼が何よりも大切です。自分の考えが「純粋」に思えますから、自分の計画は変えたくないと思えることもあります。主の視点は私たちの「霊」すなわち、心の根の部分にありますから、とにかく主にお任せすることです。その上で考え、行動し、「舌（ことば）」を使いましょう。

自分に「高ぶり」がないか、心を探りましょう。謙遜であれば、「敵」とも和らぐ可能性が生まれます。主によって「確か」なものとさせていただけますから、争う必要はありません。

「王」のようなこの世の権力も、主によって必要があり立てられています。主の義に従うことが優先ですが、そのためにも、秩序をもたらす権威を尊重しましょう。

自分が「直ぐな」道にあるかどうかを確認するためには、自分のたましいを守りましょう。になっていないか、貧しい人を尊敬しているかどうかを、確認しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

